



7章

私たちの消費のあり方が社会を変える

教科書
PP.258▶261

本章の目標

●静岡市のごみ処理の現状や、環境に対する取組を知り、実践しよう。

ここまで、買うことについて学んできたけど、買ったものを使い終えた後のことも意識する必要があるんだ。
まずは静岡市の取組をもとに考えてみよう。



みなさんこんにちは！静岡市のごみ減量啓発キャラクター「しづも」です。

静岡の「しづ」ともったいない「も」で“しづも”だよ！

静岡市では、平成19年度から市全体のごみを減らす運動を進めているよ。

Q1

なぜ、静岡市ではごみを減らす運動をしているのか考えてみよう。

一人が1日に出すごみの量（令和5年度）

全国
851g
※環境省発表による



静岡市
842g
(841g)

※ごみに関する統計による
()は台風15号関連ごみを
含まない数字

木・竹・草類
2.3%

その他
7.0%

繊維類
4.8%

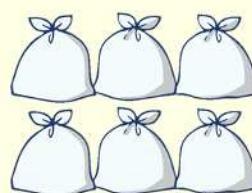


プラスチック類
22.7%

紙類
27.6%

家庭系可燃ごみの
組成調査
(令和5年度)

1か月（30日）にすると
大きいごみ袋およそ5.9個※



※1袋(45L) ≈ 4,285g(福岡市調
査)のごみが入るとして計算

資源ごみ
7.0%

不燃・粗大ごみ
5.0%

可燃ごみ
88.0%

静岡市HP「ごみに関する統計」
ごみ処理量と排出量(令和5年度実績)より
※台風15号関連ごみ含む

生ごみ 35.6%

手つかず食品 4.5%
食べ残し 6.2%
その他厨芥類 24.9%

食品ロス

※端数処理を行っています。

静岡市HP「ごみに関する統計」
令和5年度 家庭系可燃ごみ(ステーションごみ)の組成調査結果より
端数処理を行っているため合計が100%にならない場合があります。

Q2

ごみの量や内訳をみてどんなことに気づきましたか。

